

科目名	経営学基礎論	科目分類	<input checked="" type="checkbox"/> 専門科目群（第1グループ）
			<input type="checkbox"/> 総合科目群（第2グループ）
			<input type="checkbox"/> 経済学科 <input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択
英文表記	Fundamentals of Management	開講年次	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 3年 <input type="checkbox"/> 4年
ふりがな	たかちほ やすなが	開講期間	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中
担当者名	高千穂 安長	修得単位	2 単位
授業のテーマ	公共、民間の事業体の経営について、基礎的な理解を得る。		
授業概要	経済学の発展科目である、経営学について、経営資源を調達し、活用し、事業体として存続していくかを理論と実践例で紹介していく。		
到達目標	経済記事が理解でき、自分の意見を表明できるようになる。		
授業時間外の学習	各回の講義時に、次回の講義レジュメが配布される。参考図書やwebにより事前学習をする。		
履修条件	なし。		
授業計画	イン		
第1回	イントロダクション	経営学入門で学ぶこと、成績評価等の解説	企業経営入門
第2回	企業と社会		
第3回	コーポレート・ガバナンス		
第4回	企業形態・組織形態		
第5回	経営組織		
第6回	経営理念と経営戦略		
第7回	技術開発		
第8回	生産管理		
第9回	財務・会計		
第10回	人的資源管理		
第11回	モチベーションとリーダーシップ		
第12回	流通経営		
第13回	マーケティング		
第14回	国際経営		
第15回	総復習	学生の理解が低い箇所について解説	
第16回	定期試験		
テキスト	毎回、次回講義レジュメを配布する。		
参考文献・資料	1 中原秀登 『基本経営学』 新世社（中公新書）2004年 2 伊丹敬之・加護野忠男『ゼミナール経営学入門』日本経済新聞社2003年		
成績評価の方法	出席が2/3に満たない場合は受験を認めない。また、遅刻は1回につき1/3欠席とする。 成績評価は、受講態度(含討議参加度)など平常点40%、期末テスト40%、ミニテスト等20%とする。		
成績評価基準	【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) 【平成28年度(2016)以降入学した学生】 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。		
オフィスアワー	月曜2限、水曜4限		
学生へのメッセージ	経営活動は経済活動の最前線なので、しっかりと理解する必要がある。		